

垂井町 洪水ハザードマップ

令和4年3月改訂

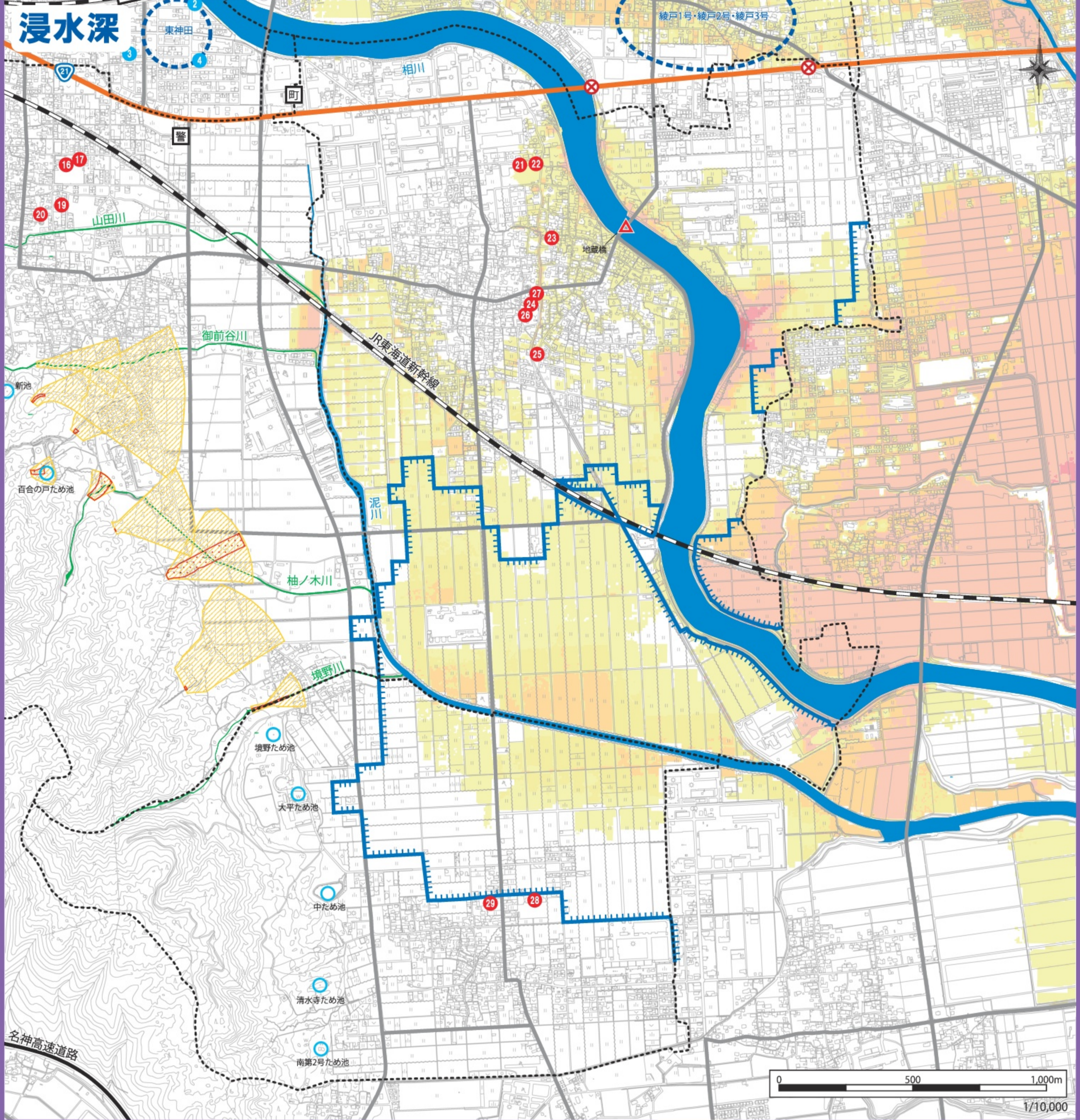
計画規模版

各河川で護岸整備等の目標としている降雨規模(30年~50年間に1回程度発生する大雨)に対する浸水想定です。

町内を流れる河川

想定される最大規模の大雨は以下の通りです。
 ・相川: 泥川、梅谷川、大滝川、大谷川: 各河川流域の1日間総雨量259mm
 ・業師川: 業師川流域の1日間総雨量265mm
 ・岩手川: 1時間あたりの雨量89mm
 ・矢通川: 1時間あたりの雨量101mm

<お問い合わせ先>
 垂井町役場 建設課
 〒503-2193 岐阜県不破郡垂井町宮代2957-11
 TEL 0584-22-1151(代)



表佐地区 栗原地区

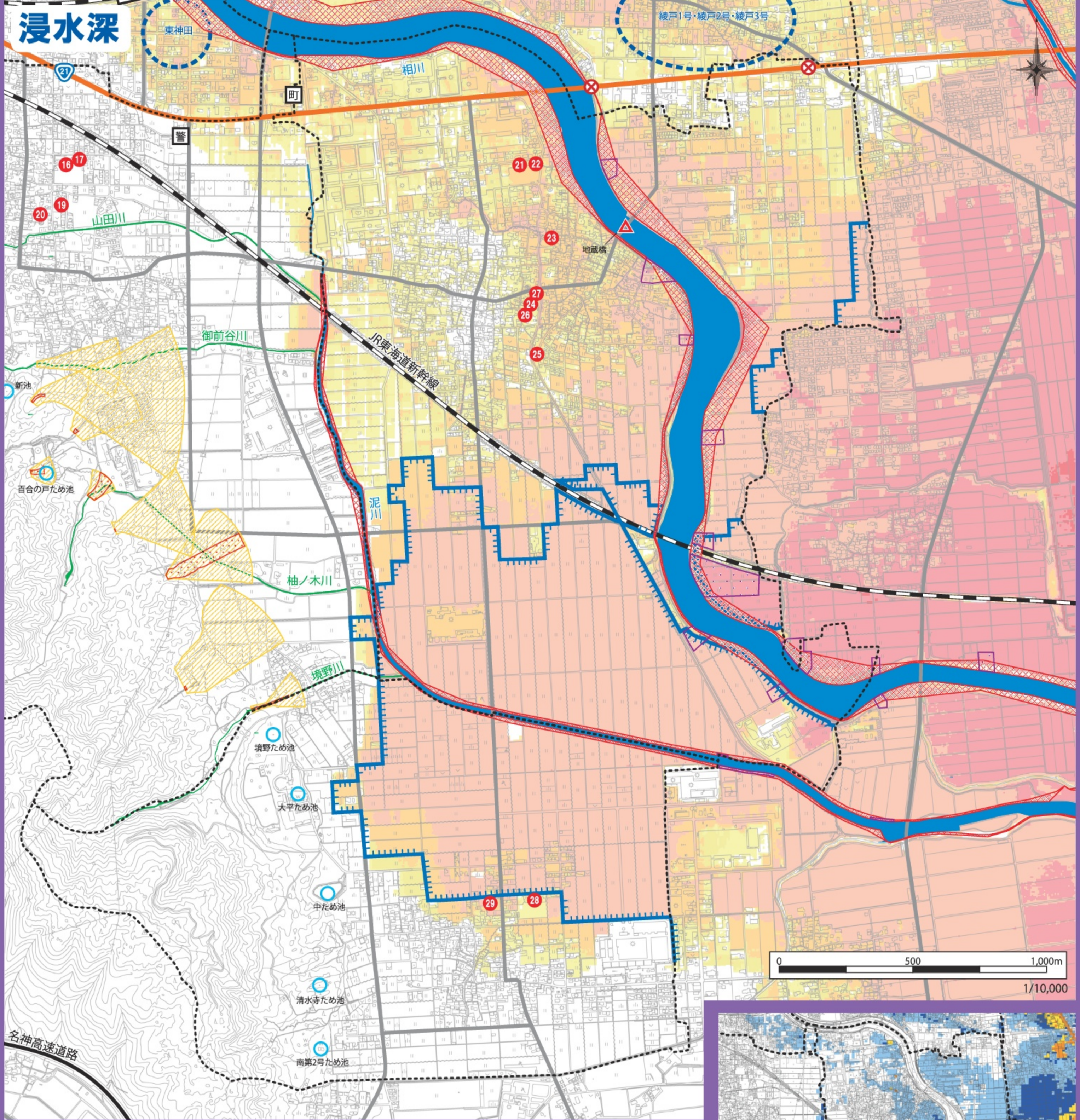
想定最大規模版

現在の各河川の整備状況をふまえ、当該流域における過去の降雨量から想定される最大規模(1,000年間に1回程度発生)の降雨に対する浸水想定です。

町内を流れる河川

想定される最大規模の大雨は以下の通りです。
 ・相川: 相川流域の1日間総雨量741mm
 ・泥川、業師川、梅谷川、大滝川、大谷川: 各河川1日間総雨量836mm
 ・岩手川: 1時間あたりの雨量176mm
 ・矢通川: 1時間あたりの雨量170mm

このマップは、垂井町に洪水被害を及ぼす可能性のある河川が、想定される最大規模の大雨の影響で氾濫した場合の「浸水区域」「浸水深」「早期の立退き避難が必要な区域」等を示したものです。
 ※このマップに表示されていない地域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際と異なる場合があります。
 ※想定を超える降雨、内水による氾濫は考慮していません。



洪水ハザードマップの見方(凡例)

洪水時の想定浸水深 → 浸水深の目安

20.0m以上の区域	20.0m
10.0m ~ 20.0mの区域	10.0m
5.0m ~ 10.0mの区域	5.0m
3.0m ~ 5.0mの区域	3.0m
1.0m ~ 3.0mの区域	1.0m
0.3m ~ 1.0mの区域	0.3m
0.3m未満の区域	0.3m

「早期の立退き避難」に備える必要があります。

凡例(土砂災害)

土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域
土石流	土石流
急傾斜地の崩壊	急傾斜地の崩壊

凡例(避難場所等)

指定避難所	地下道(アンダーパス)
指定緊急避難場所	鉄道
福祉避難所	国道
警備警察署	主な道路
消防署	地区境界
垂井町役場	ため池
谷雨量観測所(国交省)	主な普通河川
水位観測所	過去の浸水区域
	内水警戒箇所

警戒レベル4で全員避難!!

それぞれの警戒レベルに相当する情報を、早めの避難行動の判断に役立ててください。役場からの避難勧告等の発令に留意するとともに、避難勧告が発令されていなくても、自ら避難の判断をしてください。警戒レベル4の状態では災害が発生して避難できないことから、警戒レベル3や4の段階で避難することが必要です。

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難の情報(垂井町が発令)	川の情報(河川管理者(県、市)が発令)	雨の情報(気象庁が発令)
5	命を守って!	緊急安全確保	氾濫発生情報	大雨特別警報
4	全員避難	避難指示	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	高齢者等避難	高齢者等避難	氾濫警戒情報	大雨・洪水警報
2	避難方法確認		氾濫注意情報	大雨・洪水注意報
1	最新情報に注意			早期注意情報

指定避難所・緊急指定避難場所				緊急指定避難場所					
地区	番号	階数	施設名称	電話番号	地区	番号	階数	施設名称	電話番号
表佐	16	地上3階	宮代小学校	22-1012	栗原	27	地上3階	老人福祉センター	23-2117
	17	地上1階	宮代小学校留守家庭児童教室	23-2341		28	地上2階	合原小学校	22-1014
	18	地上2階	宮代地区まちづくりセンター	22-1010		29	地上2階	栗原地区まちづくりセンター	23-0931
	20	地上2階	宮代こども園	22-0693					
	21	地上3階	表佐小学校	22-1025					
	22	地上1階	表佐小学校留守家庭児童教室	22-2998					
表佐	23	地上2階	表佐地区まちづくりセンター	22-1011					
	24	地上1階	南体育館	-					
	25	地上1階	むつみ会館	-					
	26	地上1階	表佐こども園	23-1298					

凡例

~672時間(4週間)	672時間以上
~336時間(2週間)	336時間以上
~168時間(1週間)	168時間以上
~72時間(3日間)	72時間以上
~24時間(1日間)	24時間以上
~12時間	12時間以上

浸水継続時間

現在の各河川の整備状況をふまえ、想定最大規模の降雨による洪水により各河川が氾濫した場合に浸水深0.5m以上が継続する時間です。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用(承認番号 令元情使、第566号)

※河川法適用外の大石川、久保川、日守川、大谷川、山田川、御前谷川、袖の木川、境野川の氾濫は考慮していません。